

肺がんにおける血液を用いた遺伝子検査に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年 3月 31日 ～ 2024年 3月 31日

〔研究課題〕

肺がんにおける血中循環癌細胞を用いた Liquid biopsy についての後ろ向き観察研究

〔研究目的〕

一部の非小細胞肺癌では、ある特定の遺伝子変異が後天的に発生することが原因になることが分かっており、現在はその特定の遺伝子変異に対する抗癌剤が一般的に使用されています。しかし、その遺伝子変異の有無を検査するためには肺癌の組織が必要になり、時には組織採取が非常に難しい(検査に高いリスクを伴う)ことがあります。そのため、より簡便でかつリスクの低い検査方法を開発することができないかという試みを行っています。

〔研究意義〕

もし将来的にこの方法が有効であるとなった場合には、肺癌の組織採取が困難で遺伝子変異の検査を十分に受けられない患者さんに対しても検査を行うことが可能になり、よりよい治療を提供できるようになる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2020/8/1 から 2022/3/31 の期間に帝京大学医学部附属病院で肺がん(疑いを含む)に対して手術を施行された患者さんで、術前に研究・教育のための包括同意をいただいている方を対象としています。該当患者さんにおきましては、手術終了後に完全に体外に摘出された肺から血液を採取することができた場合に、その血液を研究目的で保存しています。これは完全に体外に摘出され、病理検査へ提出される肺を用いるため、患者さんの体には何の影響もありません。また、この肺の中の血液は通常の病理診断に用いられることはありませんので、手術後の病理診断や治療方針に影響することはありません。

採取された血液は、特殊な機材を用いて血液中にがん細胞があるかどうかをまず調べます。そこで血液中にがん細胞が確認された場合に、そのがん細胞中の遺伝子変異の有無を検査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

血液分析委託者: 中西速夫 日本病理学会認定 病理専門医

〔個人情報の取り扱い〕

個人名や ID 番号は完全に暗号化し、個人を特定できないようにしてから研究を開始します。連結可能な個人情報(年齢や手術内容、病理結果など)は管理に十分注意を払い、情報漏洩の内容対策を講じます。これは帝京大学倫理委員会の承認を得た上で行います。また、この研究のために収集した情報は帝京大学臨床研究センター(TARC)にて10年間保存された後に破棄されます。

対象となる患者さんで、ご自身の保存血液などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：坂尾幸則 職名：教授
研究分担者：出嶋 仁 職名：助教
所属： 帝京大学医学部 外科学講座
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL： 03-3964-1211(代表) [内線 7345]